

特集
ミニセミナー

かけ橋

秋田県立能代支援学校
令和2年11月6日(金)
No. 74

第1回ミニセミナー

「こみっと」を開催しました！

今年度、本校地域支援部では、新たな取組としてミニセミナーを年4回計画しました。

10月6日(火)に開催した第1回の会では、小・中学校から4名の先生が参加しました。今号では、主な内容についてご紹介します。

全体テーマ「特別支援学校への進学等」について

講話では、小笠原教育専門監が本校入学までの流れや就学事務手続きについて説明を行いました。

協議では、“各校で抱えている進学に関する悩み等について”の小テーマの下、特別支援学級における保護者との連携の状況、高等学校への引継ぎの方法、高等学校入学後の支援の状況などについて情報交換を行いました。



全体を通して 話題となった内容



講話と協議を通して、子どもにとって適切な進学先を決定するために必要なことは何かを確認しました。

保護者との日々の
コミュニケーションが大事。

特別支援学校への進学を視野に入れている場合は、各校の学習において特別支援学校で取り組んでいる学習内容を取り入れてみることも有効。本校で体験学習のみを行うこともできる。

特別支援学校の進学に対して消極的な家庭もあるが、特別支援学校の見学や体験学習を計画的に複数回行うことで、本人や保護者が特別支援学校に理解を示すケースがある。

「子どものどの部分を育てたいか」が大切。
例えば、働くためには、“自分のことは自分でできる”ことが必要。特別支援学校では、働くことに向けて、基礎・基本を学ぶ機会を設けている。将来の希望も見据えながら進学の間を考えられるとよい。

進学先の選択においては、希望する進学先で、本人が笑顔で過ごせるかどうかを考えたい。

小学校卒業後、特別支援学校に入学するケースが増えているが、中学校の特別支援学級にもよさがある。どちらが適切かどうかは、子どもの様子に応じて決めていくことが大切。

12月、1月も定員に空きがありますので、本校までお問合せください。

☆特別支援教育に関わる情報提供や相談等、お気軽にお問合せください。

教頭 伊藤登美子 教育専門監 小笠原英紀 地域支援部主任 船山 真生
TEL 0185-55-0691 FAX 0185-55-0681
ホームページ <https://noshiroshien.ed.jp> ☆新しくなりました。
E-mail noshiro-s@akita-pref.ed.jp